

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-152098(P2008-152098A)

【公開日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2006-341193(P2006-341193)

【国際特許分類】

G 03 G 15/20 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/20 5 0 5

G 03 G 21/00 3 9 8

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

商用電源からの電力を入力して所定の電力を供給する第1電力源と、

前記第1電力源からの電力供給によって蓄電を行い、蓄電された電力を供給する第2電力源と、

一対のローラによる熱と圧力によってトナーを記録媒体に定着させる定着装置と、

前記第1電力源と前記第2電力源の何れかから電力が供給されて動作し、前記定着装置の一対のローラの圧接及び離間を行わせる圧接離間手段と、

前記圧接離間手段への電力供給源を、前記第1電力源か前記第2電力源に切り換える切換手段と、

前記切換手段を制御する制御手段と、

前記商用電源から前記第1電力源への電力供給の遮断を検知する電力遮断検知手段と、
を有し、前記制御手段は、前記電力遮断検知手段により電力遮断が検知された場合に、前記圧接離間手段への電力供給を、前記第1電力源から前記第2電力源に変更するよう前記切換手段により切り換えるとともに、前記第2電力源から供給された電力により前記圧接離間手段による前記一対のローラの離間を行うように制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

請求項1記載の画像形成装置において、

前記制御手段は、前記画像形成装置の電源がオンされたときに前記一対のローラが離間されていなかった場合に、前記一対のローラを所定時間回転させ、電源がオンされたときに前記一対のローラが離間されていた場合は、前記一対のローラの前記所定時間の回転を行わないことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 商用電源からの電力を入力して所定の電力を供給する第1電力源と、前記第1電力源からの電力供給によって蓄電を行い、蓄電された電力を供給する第2電力源と、

一对のローラによる熱と圧力によってトナーを記録媒体に定着させる定着装置と、

前記第1電力源と前記第2電力源の何れかから電力が供給されて動作し、前記定着装置の一対のローラの圧接及び離間を行わせる圧接離間手段と、

前記圧接離間手段への電力供給源を、前記第1電力源か前記第2電力源に切り換える切換手段と、

前記切換手段を制御する制御手段と、

前記商用電源から前記第1電力源への電力供給の遮断を検知する電力遮断検知手段と、を有し、前記制御手段は、前記電力遮断検知手段により電力遮断が検知された場合に、前記圧接離間手段への電力供給を、前記第1電力源から前記第2電力源に変更するように前記切換手段により切り換えるとともに、前記第2電力源から供給された電力により前記圧接離間手段による前記一对のローラの離間を行うように制御する画像形成装置。